

公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学

学報

Vol.2
2017



特集

山口東京理科大学校友会が発足

【Contents】

平成29年度山陽小野田市立山口東京理科大学入学式 2

山陽小野田市立山口東京理科大学ニュース / 新任教員紹介 4

奨学金・サポート制度のご案内 / 平成30年度入試情報 6

学生の受賞と学生表彰式 7

学生年間スケジュール / 学長室から 8

平成29年度 山陽小野田市立 山口東京理科大学 入学式

4月8日（土）、山陽小野田市文化会館において、平成29年度山陽小野田市立山口東京理科大学入学式を挙行了しました。本年度は工学部204名、大学院修士課程9名、大学院博士後期課程2名、工学部編入学2名、計217名の新入生を迎えました。

式典には多くのご父母も出席され、新入生を代表して工学部電気工学科の宮内渉乃加さんから、「地域のキーパーソンとなるべき教養を身につけ、地域の活性化・社会貢献ができる社会人になれるよう、常に学業を重んじ、精進していきたい。」と宣誓がありました。

当日は8名の来賓にご列席いただくとともに、山陽小野田市白井博文市長よりご祝辞を賜り、新入生一人ひとりが大きな希望を胸に抱きながら、式典は無事終了しました。

式典終了後は、校友会会長からの挨拶および教育後援会定期総会が執り行われ、大学に移動後は、学科別懇談会や、教員、新入生、保証人を交えたチューター親睦会がおこなわれました。



学長式辞



理事長祝辞



新入生代表宣誓



「きぼう」が手に届くところにある大学

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学工学部各学科へ入学された皆さん、大学院修士課程、博士後期課程へ入学された皆さん、おめでとうございます。また、今日まで、すべての面で支えてこられました御家族の皆様及び関係者の皆様に、心からお祝いのご挨拶を申し上げます。

山口東京理科大学は昨年四月一日より公立大学法人下の大学として新たな一歩を踏み出し、皆様のおかげをもちまして、最初の一年を無事終えることができました。

大学生になった皆さんは、自分の将来の夢を、成し遂げたいことを、人生で何が大事であるかということを見つけてください。目的が明確なほど勉学に身が入ります。まだ漠然としているのなら、一、二年生のうちに目標を明確にすることをお勧めします。目標を実現するために入学したこの大学こそが皆さんにとって最高の自分を磨く場になるはずです。

皆さんは、いずれは大学や大学院を卒業して社会に出ていくでしょう。大学や大学院で学ぶ期間の十倍

もの時間、この先、新しい知識を学び続けなければならないでしょう。大学時代に学ぶべきことは、すべての基礎となる知識と学び続けるための学ぶ方法です。学ぶ力を身に付けてください。人生は学ぶことの連続です。

この山陽小野田市は、「しあわせ」が手に届くところにある街です。若い皆さんの今は、「みらい」が手に届くところにある年頃です。そして、皆さんが入学した山口東京理科大学は、「きぼう」が手に届くところにある大学です。

どうか、健康に留意され、今の初々しい気持ちを忘れずに、しっかりした目標を形成し、それを目指して存分に学んでください。皆さんが、有意義な学生生活を過ごされますことを願って、御挨拶といたします。



学長
森田 廣



白井博文前山陽小野田市市長祝辞



機械工学科懇談会



電気工学科懇談会



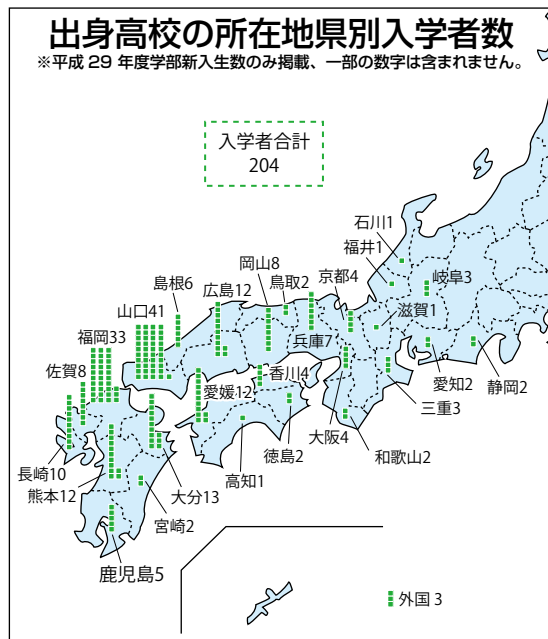
応用化学科懇談会



野村保夫校友会会長



小田政之教育後援会会長



知的探究を楽しんでほしい

入学された皆さん、ご家族の皆さま、ようこそ、山陽小野田市立山口東京理科大学へ。ご入学おめでとうございます。

これまでの皆さんのご努力に敬意を表しますとともに、皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆さまにお祝い申し上げます。

さて、山口県が生んだ明治維新の精神的指導者である吉田松陰先生は、「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」と述べています。

重要なことは、「理想なき者に計画なし」、「計画なき者に実行なし」の部分です。

自分の願いを本当に叶えたいのであれば、そこには理想や計画、それに従った実行といった要素が伴います。いつまでに、何をどこまでできるようにするのか、といった計画性こそが実行力につながり、実行力があるからこそ続けられ、その継続性の結果として夢が叶うのです。

ご入学された皆さん、夢をすでに持っている人は

大学生活を通して目標をたて、計画を作り実行してください。まだ、夢を明確に持っていない人は、あせることなく、気が付いたことから、何がしかの行動を起こしてください。このサイクルを実現するには、「夢」からスタートしなくても、まずは自分の考えで行動をはじめれば実績となり、それをふりかえることによって進歩し、ひいては夢が持てるようになり、行動・実績・進歩につながります。

本学には、皆さんの夢をサポートし、計画をたて、行動を起こすために頼りになる教職員がたくさんおります。皆さんそれぞれが、各自の大学生活を楽しみながら、夢を実現して欲しいと願っています。そのためにも目標・計画を持つとともに、常に反省と自分の進歩に関心を示し、柔軟に長期的・多面的・根本的な発想と、時には発想の大転換を図って、「知的探究する喜び」と「貢献する喜び」を経験し、知的探求を楽しんでほしいと思います。



理事長
池北 雅彦

同窓会「山口東京理科大学校友会」発足

初代会長に野村保夫氏、在學生や卒業生の交流事業等を推進

3月18日(土)、学位記授与式閉式後に山口東京理科大学校友会(同窓会)の設立総会を執り行いました。

山口東京理科大学校友会は、公立化後に設立した新しい同窓会組織で、会長に野村保夫様が選出されました。「校友会」は、山陽小野田市立山口東京理科大学、山口東京理科大学及び東京理科大学山口短期大学を卒業あるいは修了した皆様で組織される同窓会で、同じ学び舎を卒業した方々と今後卒業される皆様との親睦を厚くし、本学の発展と社会に貢献することを目的とし、設立いたしました。

設立の目的を達成するため、在學生の支援や卒業後の交流等、事業を行う予定です。

校友会ホームページ

<http://kouyukai-tusy.com/>
 準会員(在學生)の方には、別添にて会員専用パスワードを送付(本学報に同封)いたします。



校友会 主な事業内容

- 会誌・会員報・会員交流サイトの発行運営
- 会員情報の管理運用
- 校友会主催の各種行事
- 学生に対する支援活動
- その他本会の目的を達成するのに必要な事業
- 会費：15,000円

(終身会員のため、納入は1回のみ)



新 | 任 | 教 | 員 | 紹 | 介 |

工学部 共通教育センター

つみ ちかこ
堤 千佳子 教授



専門分野での学びや就職後にも対応できるよう英語力を向上させ、グローバルな視点や関心を持たせることができるような授業を心がけています。

工学部 応用化学科

おおたに ゆうた
大谷 優太 助教



専門は光化学・界面化学で、現在は色素増感太陽電池の開発を行っています。助教としてまだ不慣れなことも多いですが精一杯頑張っております。

薬学部設置準備室

ただ たけん
武田 健 教授



工学部、事務の皆さまのご指導、ご支援をいただきながら、薬学部設置に向けて微力ながら頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

オープンキャンパス 2017のご案内

8月5日(土)・6日(日)の2日間でオープンキャンパスを開催します。

各学科を体験できる模擬講義や研究・実験体験、入試説明会、保護者説明会、個別相談コーナー、募集要項・過去問配布など、山陽小野田市立山口東京理科大学を体験できるプログラムを多数用意していますので、皆様ぜひお越しください。



山口県立美術館キャンパス メンバーズに加入

今年度、本学は、「山口県立美術館(2館)共通キャンパスメンバーズ」に加入しました。

山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館の2館が開催する普通展示(コレクション展)及び企画展(山口美術展覧会・山口伝統工芸展を除く特別展示)を、2018年3月31日まで無料で何度でも鑑賞できます。

本学の全ての学生が対象となりますので、受付で学生証をご提示ください。

スポーツ大会で深まる親睦

5月13日(土)、本学体育館にて、恒例行事の「スポーツ大会」が行われ、学部生・大学院生が286人参加しました。研究室を編成してチームに分け、ソフトバレーボール・ドッチビー・綱引きで、楽しく真剣に得点を競いました。また、竜王山へのハイキングも加わり、日ごろの運動不足解消や親睦を深めました。爽やかな5月の風を感じながら、大変盛り上がりました。



保証人懇談会のご案内

10月21日(土)、10月22日(日)に平成29年度保証人懇談会を開催する予定です。

全体説明では、学生生活の状況や本学の学生支援制度などをご報告いたします。

個別相談では、それぞれのチューター教員と、ご子女の大学生活や成績、進路についてお話をさせていただきます。

日時等決定いたしましたら改めてご案内いたします。



学友会設立

平成29年度より、学生が自主的に行う課外活動の運用のため、山陽小野田市立山口東京理科大学学友会が設立されました。

学友会は、本学に在籍している学部学生を会員として組織される会で、クラブ活動や学園祭等、学生による行事の運営及び支援に関する活動を行うことを目的としています。

学友会には、本学に在籍する学部学生の全員が加入し、学生を主体とした機関をもって、目的達成のため事業を執り行います。

復活!住吉まつりに学生が参加

5月28日(日)に山陽小野田市住吉地区にて「復活!住吉まつり」が開催され、本学からも学生及び教員が参加しました。

パレードとメインステージでは1年生を主体としたチームが龍舞を披露し観客を沸かせていました。

こどもエリアでは、子ども向け科学実験を「HMS」、小型レーシングカーの展示を「自動車部」、イライラ棒を「ロボット・メカトロクス部」がそれぞれ担当しました。



特待生奨学金

学部又は大学院修士課程に在籍する学生のうち、学業において特に優秀な成績を修めた者（各学科・学年と研究科から原則1名）に対し、学業を奨励することを目的として、給付される奨学金があります。給付額は年間10万円です。

授業料免除・徴収猶予制度

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が良好であると認められる学生を対象に、各期の納付すべき授業料を免除又は納付時期を延長する制度です。なお、授業料免除及び徴収猶予は、学力基準、家計基準に基づき選考し、予算の範囲内で実施します。

対象者：標準修業年限で卒業又は修了できる見込みがある学部生又は大学院生（科目等履修生、研究生、を除く。）のうち、以下の①～③のいずれかに該当する学生を対象とします。

①	学資負担者が経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が良好である学生
②	申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害などの災害を受けたことにより授業料の納付が困難な学生
③	申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、失業又は事業の倒産により授業料の納付が困難な学生

平成30年度入試情報

平成30年度工学部一般入試は、前期日程と公立大学中期日程により行い、大学入試センター試験と本学独自の個別学力検査の合計点によって合否を決定します。個別学力検査は、前期日程・中期日程ともに山口、岡山、広島、愛媛、北九州、福岡、大分の7試験場で実施します。

平成30年度 山陽小野田市立 山口東京理科大学工学部 入試日程

入試日程		募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	試験場
一般入試	前期日程	A方式	平成30年 1月22日(月)～1月31日(水)	2月25日(日)	3月6日(火)	山口・岡山・広島・愛媛・ 北九州・福岡・大分
		B方式				
	公立大学 中期日程	26人	平成30年 1月22日(月)～1月31日(水)	3月8日(木)	3月21日(水)	山口・岡山・広島・愛媛・ 北九州・福岡・大分
AO入試		15人	平成29年 8月14日(月)～8月18日(金)	9月16日(土)	10月2日(月)	山口
推薦入試	地域推薦	市内枠	平成29年 11月6日(月)～11月13日(月)	11月25日(土)	12月11日(月)	山口
		県内枠				
	一般推薦	17人				

参考：平成29年度入学試験実施結果(学部)

(単位：人)

学科名	募集人員	志願者	志願倍率	出願者		受験者	合格者 (注1)	実質倍率 (注2)	入学者	入学者			
				県内	県外					県内	県外	男	女
工学部													
機械工学科	60	592	10	46	546	444	89	5.0	64	11	53	63	1
電気工学科	60	543	9	62	481	409	91	4.5	61	17	44	56	5
応用化学科	80	655	8	44	611	466	124	3.8	79	13	66	57	22
合計	200	1,790	9	152	1,638	1,319	304	4.3	204	41	163	176	28

※編入学を含まない

(注1) 合格者は、追加合格を含む (注2) 実質倍率＝受験者数/合格者数

平成28年度学生表彰式

1月31日(火)、平成28年度学生表彰式が開催されました。学生表彰は、研究および学業、課外活動、社会活動等において優れた評価を受け、本学の栄誉を高めた個人又は団体を表彰するもので、今年度は個人3名と6団体が表彰されました。

表彰式では、表彰状と副賞が授与され、学長及び学生部長から激励の言葉が贈られました。また、受賞者を代表して挨拶を行った柿原崇寛さん(機械工学科4年)からは、受賞の喜びと今後の抱負、先生方の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

【最優秀賞】

・工学研究科工学専攻 博士課程2年 大島啓佑さん
・自動車部(学生フォーミュラチーム)

【優秀賞】

・機械工学科3年 楊帥さん

【優秀賞】

・平成28年度スポーツ大会実行委員会
・第22回竜王祭実行委員会

【優秀賞】

・HMS
・住吉まつり龍舞ボランティア
・教育研究サークル
・応用化学科4年 吾妻のぞみさん



第3回トマトロボット競技会で総合4位入賞

平成28年12月9日(金)～11日(日)に北九州市で第3回トマトロボット競技会が開催されました。

トマトロボット競技会は農産物の生産に深くロボットが参加し、アグリロボットの発展をめざすことを目的に開催されています。

機械工学科池田研究室のメンバーでありロボット・メ

カトロニクス部のメンバーでもある機械工学科4年生の早川優太君、田中良樹君が池田講師、伊藤技能員、森本技能員をアドバイザーとしたチームで参加しました。結果はファイナルステージまで進出し、総合順位では参加12チーム中4位、部門別ではルールスタイル部門2位という成績を収めました。



日本化学会中国四国支部「支部長賞」を受賞

工学部応用化学科4年生の杉山さつきさんが日本化学会中国四国支部「平成28年度中国四国支部 支部長賞」を受賞しました。

受賞者：工学部応用化学科4年

杉山 さつき

指導教員：石川 敏弘 教授〔工学博士〕

論文名：「無機繊維の引張り強度の測定条件依存性に関する研究」



自動車技術大会「大学院研究奨励賞」を受賞

工学研究科工学専攻修士課程2年生の高井貴生さんが公益社団法人自動車技術会「2016年度 大学院研究奨励賞」を受賞しました。

受賞者：工学研究科工学専攻修士課程2年 高井 貴生

指導教員：結城 和久 教授〔博士(工学)〕

論文名：「一方向性ポーラス銅を用いた超高熱流束輸送デバイスEVAPORON-4の伝熱評価」



予定

学生年間スケジュール (2017年7月～2018年3月)

7/6(木)	大学院修士課程推薦入試	11/18(土)～11/19(日)	竜王祭(学園祭)
7/25(火)～8/7(月)	定期試験期間(前期及びII期)	11/30(木)	大学院研究中間発表会
8/5(土)～8/6(日)	オープンキャンパス	12/27(木)～1/8(月)	冬期休暇期間
8/7(月)	前期授業最終日	1/9(火)	後期授業再開
8/10(木)～9/20(水)	夏期休暇期間	1/22(月)～2/6(火)	定期試験期間(後期及びIV期)
9/8(金)	大学院修士課程一般入試	2/6(火)	後期授業最終日
9/22(金)	後期ガイダンス	2/14(水)～2/15(木)	大学院修士課程業績報告会
9/25(月)	後期授業開始	2/22(木)～2/23(金)	卒業研究発表会
10/21(土)～10/22(日)	保証人懇談会(予定)	3/3(日)	大学院博士後期課程一般入試
11/7(火)～11/16(木)	定期試験期間(III期)	3/21(木)	学位記授与式

発行日現在の予定です。最新の日程等は本学ホームページでご確認ください。

予算

平成29年度予算

平成29年度予算は、地域社会の発展に寄与する自立的な大学運営の基盤整備を重視した効果的かつ効率的な予算編成を行いました。

1 教育研究の充実

公立化2年目に向けて教育研究の一層の充実をめざし、自己収入の増収や外部資金の獲得を進め、安定的な財源の確保に努める。

2 施設等環境整備の充実

施設整備を良好な状態で維持管理するための修繕・整備を計画的かつ効率的に実施する。また、薬学部の開設に向けた準備を計画的に行う。

3 地域貢献活動の充実

地域の課題を解決する教育研究の推進、産学官連携、地域連携に向けた活動を推進する。

収入の部 (単位:千円)	
科目	29年度予算額
運営費交付金収入	1,545,085
学生等納付金収入	655,871
受託研究等収入	13,119
雑収入	10,832
財務収入	2
その他	870
収入の部合計	2,225,779

支出の部 (単位:千円)	
科目	29年度予算額
人件費	706,085
一般管理費	1,123,715
教育経費	205,826
研究経費	52,582
教育研究支援経費	114,452
受託研究費等	13,119
予備費	10,000
収入の部合計	2,225,779

学長室から

『教育維新』をこの地から

皆様のお蔭をもちまして、本学は公立化して1年、教育に研究に、その想いを無事に前に進めることができいております。今春もまた、希望に目を輝かせた新入生たちをお迎えすることができました。日ごろの御支援に厚く御礼申し上げます。そして、来年にはいよいよ薬学部の新設を予定しており*、今、その準備を着実に進めております。やがては、倍近い数の若者の集う大きな知の拠点となることでしょう。市や県からの期待をひしひしと感じており、いっそう良い大学にしなければと肝に銘じております。

さて、本学があります、地元山口県における教育というと、萩の「松下村塾」が思い起こされます。松下村塾を思うにつけ、生身の教育には3つの要素が必要だと考えます。「進んで自ら学ぶこと」「知識を自分一人のものとして人に教えること」「世界に目を向け自ら実践すること」の3つです。松下村塾の教育姿勢はこの3つの考え方に集約されます。

一方、今、文部科学省は、世界における日本の地位挽回のため、この内容に近い学力の

3要素を掲げ、それを受けて大学には3つのポリシーを求めております。160年も前に郷土で培われ、地元を受け継がれてきた教育の真髓が今の日本の教育の目標となっているのです。

今こそ、私たちが日本の『教育維新』の先駆けとなりましょう。本学も、「受動的ではない、社会に出てからも学び続けられるような学ぶ方法を身に着けるような教育」「先生の講義を一方的に受けるのではない、双方向、学生同士が教えあう教育」「世の中に出て、どのような境遇にあっても自分自身の能力を発揮できる教育」の3つを根幹に据えた教育を行うことを理念としております。この方針を高等学校、中学校、そして小学校の教育にも、それぞれのレベルで広げてまいりましょう。

「至誠天に通ず」とは吉田松陰先生の信条ですが、私も誠意を尽くして教育や研究の道に志せば、必ず良い人材を育てることができ、良い社会を生み出すための貢献ができるものと信じております。輝く目を持つ、若い学生たちと、日本の『教育維新』をこの地から起こしていきたいと思っております。

学長 森田 廣

*薬学部設置については設置認可申請中のため、変更の可能性があります。